

所(組)別： 日本研究所

考試科目： 日本現勢

一、美日安全條約對我國安全之影響如何？
試從我國國家安全之視角說明之。 30%

二、試列舉並說明 小淵(孝三)內閣之政績。 30%

三、試說明下列專有名詞 各 10%

(1) 1955年「保辜合同」

(2) 1952年「吉田茂書簡」

(3) 日本憲法第九條

(4) 日本泡沫經濟

(第一頁.共一頁)

一次の漢字の読みを書きなさい。(16分、每小题1分、漢字題)

- 1. 因縁 2. 叔業 3. 示唆 4. 勤者 5. 顯履 6. 上辺 7. 河童 8. 白州
- 9. 長閑 10. 唯一 11. 拘泥 12. 暴露 13. 類杖 14. 煩惱 15. 成金 16. 太刀

二次の日本語を中国語に直しなさい。(28分、每題14分)

1. それから、何分かのうちである。羅生門の様の上へ出る。幅の広いほしごの中段に、ひとりの男が猫のように身をちぢめて、息を殺しながら、上のようなうかがっていた。標の上からさす火の光が、おすかに、その男の右のほおをぬらしている。短いひげの中に、赤くうみを増したにきびのあるほおである。下人は、ほしごから、この上にいるものは、死人ばかりだとたかましくくっていた。それが、ほしごを二三段あがって見ると、上ではたれか火をとぼして、しかもその火をそこそこ動かしているらしい。

2. 地方都市在住の若い作家たちはグループを作って同人誌を出版するが、彼らの作品は東京で発行される雑誌に掲載されない限り、ごく少数の人の目にしかとまらず、彼らが全国的に有名なことになることは決してない。また、役者たちは、地方の都市でどんなに好評を博しても、東京で舞台を踏まない限り、成功を収めたとは思わないのである。陶芸家と同じだ。工房を地方に持っても、彼らは東京で展示会を開催することを絶対に必要なものとして考えており、画家や彫刻家となると中央志向がさらに強い。

三次の中国語を日本語に直しなさい。(24分、每題14分)

1. 所謂の火葬時間、就是每天上下班的时间、每個車站都是人山人海、有的急著上車、有的急著下車、大家好像拚命似的、沒有經驗的人、根本上下不了車。我剛到東京来的时候就是這樣、總要守很久才能上車。有時候上了車又下不来、因為車上更擠、動作一慢、就來不及了。

2. 我常常想：要是能住在公司附近，上下班不用坐車，那多好呀！但是事實上是不可能的，因為台北市內的房子太貴，一般的小職員根本住不起，所以大部分都住在郊外，每天早出晚歸，家好像旅館一樣，平常回家就是睡覺，什麼也不能做。我剛進公司的时候，實在過不慣這種生活，現在總算可以適應了。

(24分)

題目：

大學生活的思い出

所(組)別： 日本研究所

考試科目： 日本通史(含中日關係)

申論題： 各題 25分

1. 請就日本江戶時代(1603~1868年)與我國明、清文化交流關係論述之(20%)並列舉主要參考文獻五種(中、日文皆可5%)
2. 1871年清朝與日本明治政府締結並於1873年換約之「中日修好條規」的背景、交涉過程及其結果各為何?請分述之。(25%)
3. 請就中日兩國近代化過程之演變及其結果之異同做一比較。(25%)
4. 1895年甲午戰爭(日本稱日清戰爭)與1937年七七事變之後的第二次中日戰爭(抗日戰爭),兩次戰爭之性質、目的、手段分別比較之。(25%)

(第一頁,共一頁)